

事務事業評価票〔市単独補助金〕 平成 29 年度

担当課 しまばら観光おもてなし課

基本事項	補助金(事業)名	がまだすリーグ・スポーツキャンプ等誘致補助金				整理番号	1510
	根拠法令等	島原市観光振興事業補助金交付要綱				実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第6章 地域の個性と魅力を磨いて交流を促進する	予算科目	7 款 3 項 1 目		<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規	
		節 第2節 交流活動推進	区分	団体の運営費に対するもの			
事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	島原がまだすリーグ・スポーツキャンプ等誘致実行委員会				実施期間	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 23 年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 年度まで
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	<p>本市の観光客は、雲仙普賢岳噴火災害を機に、入込客数、宿泊客数とも大幅に減少していることから、観光客(交流人口)の拡大と地域の活性化を図るため、各種誘客対策に取り組んでいる。</p> <p>なかでも、本市はスポーツコンベンション施設を数多く有し、これらを活用した各種のスポーツ大会等が積極的に開催されており、とりわけサッカー競技については全国的に盛んな地域として知られ、親善交流試合等による交流も深まっている。</p> <p>また、野球や陸上、バドミントン、剣道など各種競技のキャンプや合宿の実績もあり、交流人口拡大のため、今後も積極的に誘致活動を推進する。</p>					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	<p>地域の活性化、市民スポーツの向上、青少年の健全育成等を図るため、Jリーグをはじめ各種スポーツのキャンプ等を誘致する。スポーツを通じて交流人口の増大を図り、地域経済の活性化を図る。</p> <p>また、トップアスリート等の高い技術を目の当たりにする機会を設けて、競技力の向上を図る。</p>					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	定額補助					
事業費等の推移	年度		25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		6,000	4,000	6,000	4,500	6,000
	① 団体等事業費(千円)		7,962	5,894	6,453	4,790	8,254
	② 歳入内訳(千円)	会費等					
		前年度繰越金	5,386	3,977	2,371	2,543	2,254
		市補助金	6,000	4,000	6,000	4,500	6,000
		その他の助成金	548	227	446	0	0
その他雑収入		5	61	179	1	1	
次年度繰越金(②-①)		3,977	2,371	2,543	2,254	-	
28 年度の当該団体等の事業費の主な内訳 (市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項目			金額	項目			金額
消耗品費			1,095				
使用料			1,029				
会議費			884				
旅費			813				
補助金の使途についての特記事項等	大会、合宿、キャンプ等を誘致した場合、各チーム・団体ごとにニーズが異なるため、毎年、支出する内容が異なる。						

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない	延べ宿泊者数 参加者数 H26年度 : 4,962人 H26年度 : 2,233人 H27年度 : 6,866人 H27年度 : 3,241人 H28年度 : 8,046人 H28年度 : 3,102人
	<input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている	大会、合宿、キャンプ等を誘致した場合、実行委員会はもとより、市がどれだけ歓迎の意を表しているかは、島原へ来る各チームの満足度を高める重要な要素だと考えられる。 また、施設を所管する市が関わることにより、スムーズな連絡調整が可能となる。
	<input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助 成 の 在 り 方 等 の 見 直 し 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	実行委員会は「地域活性化及び交流人口の拡大」という目的で設置されており、ある程度の成果を出している。 実行委員会が誘致活動を行い、実行委員会と市が受け入れ体制を整理する現在のやり方を変える必要性は低いと考えられる。
○総合評価と今後の方向性		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 総 合 評 価 </div>	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的方向性
	判 定 理 由	実行委員会が誘致活動を行い、実行委員会と市が受け入れ体制を整理する現在のやり方を変える必要性は低いと考えられる。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1～B4の場合)	課 題	
	見 直 し の 方 向 性	

◎2次評価

判 定	A1特段の見直しを行わず、現行のまま継続 ▼
備 考	実績が十分あり、目的である地域活性化及び交流人口の拡大に寄与している。市が行うべき事業であり、その活動は広く効果がある。特段の見直しを行わず、事業を継続実施することが妥当だと判断した。

◎3次評価

判 定	▼
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)	
<input type="checkbox"/> 補助額の削減 <input type="checkbox"/> 補助額の増加 <input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ⇒ 予算措置額の増減 △ 1,000 千円	
備 考	

(がまだスリーグ・スポーツキャンプ等誘致補助金)